

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	10	利用者の人権や尊厳を大切にした言葉かけや対応等について、職員間で温度差があり、出来てないことが多い。	利用者の「人権・尊厳」を尊重した介護研修などを設けて、対応や介護技術向上を図る。	職員が「人権・尊厳」を理解し、利用者に対する対応、態度、声掛けが意識できるよう定期的な研修や勉強会を設ける。	3 か月	
2	42, 43	高齢者虐待防止法の理解や勉強会もなく、入所者への虐待や拘束の認識がない。また、職員を育てる仕組みや体制が少なく、職員の個人の考え方が強く、研修、勉強会もなく介護技術が向上する機会がない。	職員の介護技術の向上目的で研修や(施設内のマニュアルなどを使い)勉強会の開催を行う。	拘束委員会を立ち上げ、担当者を選任した。その担当者が定期的(原則1回/2か月)実施する。また、施設内外の研修や勉強会を定期的実施する。	2 か月	
3	29	玄関は暗証番号で開錠する仕組みや食堂の引き出しなどに利用者への注意書きがあり、自由を損なう表示等がある。	利用者の自由を尊重した対応策を行う。	玄関は夜間以外施錠しない。日中は開放する。食堂の引き出しの注意事項は外す。	1 か月	
4	13	令和5年3月、コロナ禍にて面会中止、外出禁止の処置を行っている。	利用者、その家族との面会や外出の機会を設ける。	厚労省より令和5年3月13日以降、「マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となり、同年5月8日よりコロナ第5類に移行」以上を踏まえて、段階的に散歩や車での花見など積極的に外出の機会を設ける。また面会についてもマスクの着用の上で面会等も実施する。(3月から実施)家族との外出は5月8日から実施する。	2 か月	
5	37	家族などへの運営上の事柄や出来事を定期的な報告し、理解や協力するような機会が少ない。	地域住民の方々や家族の皆さんに運営推進会議などや定期的な情報の発信により、理解や協力をしていただくよう機会を増やす。	令和5年5月8日よりコロナ第5類になり、コロナ前の生活様式に近づき、マスク着用での面会(現在実施)や家族との外出を設ける。運営などに関わる情報は運営推進会議への家族の参加。利用者の状況については今までどおり、随時家族への情報提供を行う。	2 か月	

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
6	40	(コロナ禍のため)運営推進会議の案内状のみで会議を活かした取組みがない。	今年度は面談での開催を行う。	令和5年5月8日よりコロナ第5類になり、マスク着用での運営推進会議の実施を行う。	1 か月	
7	50	災害の備えは、地域住民のアンケートで相違があり、体制までは構築していない。	運営推進会議などで地域住民の方々の定期的な参加と支援体制の構築の実施する	今後、避難訓練実施計画を作成し、支援体制や地域住民と一緒に定期的な避難訓練や災害時の避難訓練を行う。(避難訓練: 令5年3月31日実施)	2 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()